

壁紙施工要領書
- ガラス繊維壁紙 -

【該当品番】 (2024- Lilycolor MATERIALS)
LMT-16038～16041

■ 特長

- ・溶かしたガラスを繊維状にし、特殊な染色技法で着色したグラスウールを使用した壁紙です。

■ 選択上の注意

- ・カッターなどで切断することによって、ガラス繊維の塵が飛散し、皮膚、眼、鼻や喉などに触れると、一時的にかゆみを引き起こすことがありますのでご注意ください。

■ 下地調整

- ・施工後の下地の不陸の目立ちを避けるために、下地面はできるだけ平滑に仕上げるようにしてください。
- ・下地面に汚れやチョーク等による文字などが残っている場合は、除去するようにしてください。
- ・パテはペースト状又は粉末状の水性のものを使用し、下地と同色のものを使用するようにしてください。
- ・シーラーは水性の物を全面に塗布してください。
- ・貼り替えの際、裏打ち紙が下地面に浮いた状態で残っている場合は、必ず剥がしたあと施工するようにしてください。浮いた所の上で施工しますと目開きの原因になります。

※詳しくは、施工上のご注意の共通事項をご確認ください。

■ 接着剤

- ・糊付け機を使用しての糊付けは可能です。
- ・接着剤は原液タイプをお薦めします。希釈タイプ使用の場合は、糊：水＝10：6～7にエチレン酢ビ系ボンドを10～20%程度混合してください。また、塗布量は多めにしてください。
- ・エチレン酢ビ系のボンドを混合しますと、接着剤の乾燥が早まりアイハギの発生時間も早くなりますので注意が必要です。
- ・濃度の薄い接着剤は、糊が吸い込まれてしまい接着力が落ちる他に、壁紙を余計に延ばして後の目開きの原因になります。
- ・粘りの強い接着剤を使用すると、糊溜まりの原因になりやすいので注意してください。
- ・壁紙表面に接着剤をつけたまま放置しますと変色の原因になりますので、ただちに拭き取るようにしてください。

■ 養生・オープンタイム

- ・接着剤塗布後は、うませ時間を5～10分程度を目安に作業を進めてください。
- ・オープンタイムは過度にとると乾燥して、アイハギの発生や、ずらし・あおりの作業が困難となり、施工不良の原因になる恐れがあります。
- ・復元性が無いため、折れると元に戻りません。タタミジワを防ぐためにも、糊付け後は必ず大きくたたんで上積みは避けてください。

■ なで付け・ジョイント

- ・LMT-16038・16039はジョイント部分が特にほつれやすいため、目地取り施工またはジョイナー使用をおすすめします。
- ・LMT-16040・16041は経糸整経壁紙です。糊付け後湿り気を帯びると縦に裂けやすくなりますので、施工時にご注意ください。
- ・ジョイント部分のなで付けは横方向には行なわないようにしてください。材料を引っ張ってしまうことになり目開きの原因になります。
- ・なで付けの際はやわらかな刷毛を、ローラー掛けの際はウレタン製のものを使用してください。あまり強く擦るとテカリ、ホツレやキズが生じる場合があります。
- ・ジョイントが目立ちやすい傾向にありますので、カッターは薄刃のものを使用し、こまめに替えて常に鋭利な状態でお使いください。
- ・粘着テープの使用は、テープを剥がした際に壁紙表面を破損するおそれがあります。なるべく使用は控えるようにしてください。
- ・壁紙表面に接着剤等が付着した場合は、直ちにきれいな水で拭き取ってください。変色の原因になります。また、商品表面に水分がつかないようにご配慮ください。商品がカールしたりほつれたりする場合があります。

■ 施工後

- ・ 施工後は、外気や冷暖房などによる急激な室温の変化を避けるようにしてください。目開きやハガレ等の原因になります。

■ その他

- ・ 作業服は長ズボン、長袖を、また防塵マスク、保護眼鏡を忘れずにご着用下さい。
- ・ 特に、眼に塵が入らないように注意し、入ったときは直ちに眼を洗って下さい。
- ・ かゆみ等の症状が続くときは、直ちに医師の診察を受けて下さい。
- ・ 取り扱い後は、顔や手を流水で洗い、うがいを励行して下さい。
- ・ カットした切り屑は袋に入れ、他の人が触れないようにして下さい。
- ・ 作業着は他の衣類等とは別に洗濯して下さい。
- ・ アレルギー体質の方は、特に上記各事項についてご注意下さい。